

ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

nicotto tsu-sin!

本年もみなさまの
ご来館を心より
お待ちしております。



にこっとちゃん

2019.1.15
第64号

発行／公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



～くんまちゃん・にこっとちゃんと
写真を撮ろう!! (11/3) より～

児童健全育成
講演会

「発達障害から考える子どもたちの未来」



発達障害をテーマに、発達障害の子どもをもつ堀内祐子氏と自らも学習障害の当事者である南雲明彦氏のお二人を招き、それぞれの立場から講演していただきます。

日時：2月17日(日)

13:30～16:00(受付13:00～)

会場：2階多目的ホール

対象：一般 ※未就学児は保護者同伴

定員：300名(先着順)

内容：堀内 祐子 氏 講演 13:40～約60分

演題：「子どもを理解する力～発達障害の子とハッピーに暮らすヒント～」

南雲 明彦 氏 講演 14:50～約60分

演題：「子どもたちのSOSを見逃さない～学習障害から考える未来～」

申込方法：1月17日(木)～電話、FAXまたは来館の上、お申し込みください。

共催：群馬県児童館連絡協議会

後援：群馬県 群馬県民生委員児童委員協議会 くま地域活動連絡協議会

講師紹介



堀内 祐子(ほりうちゆうこ)氏

・自閉症スペクトラム支援士、
特別支援士、傾聴心理士
・発達障害(アスペルガー症候群、
ADHD、LD)をもつ4人の母親
・著書：「発達障害の子とハッピー
に暮らすヒント」他



南雲 明彦(なぐもあきひこ)氏

・明達館高等学校 共育コーディネーター
・著書：「LDは僕のID 字がよめないことで見えてくる風景」他

「第1回 年賀はがきで
にこっとちゃんの絵 大募集！」
作品展示のお知らせ

みなさんから送りいただいた当館のマスコットキャラクター「にこっとちゃん」への新年のメッセージ、似顔絵を描いた年賀状を展示します。

展示期間：

1月19日(土)～2月10日(日)

会場：3階ギャラリー



プラネタリウム特別企画

「さわってみよう! うごかしてみよう!」
こどもの国のプラネタリウム

スペースシアターからイベントのご案内です。小学生～中学生を対象に、当館プラネタリウム機器を実際に「さわってうごかしてみる」初の試みです。星や天文ファンはもちろん、プラネタリウムに興味があるみなさん、ぜひお待ちしております!

日時：2月11日(月・祝)

16:00～16:50

場所：児童会館 2階スペースシアター

定員：50名

対象：小学生～中学生

*小3まで保護者の同伴必要



休館日

1月7日(月)・15日(火)・16日(水)・21日(月)・28日(月)

2月4日(月)・12日(火)・18日(月)・19日(火)・25日(月)

3月4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

★1月14日(月)・2月11日(月)は祝日の為、開館日となります。



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL. 0276(25)0055 FAX. 0276(25)0059
URL <https://kodomonokunijidoukaikan.jimdo.com/>
Twitter: @nicottochan5

※次号は、4月15日(月)発行予定



節分の工作 ～鬼おにパチンコ～



もうすぐ節分・・・作って遊べる楽しい工作です。家にある材料で、ぜひ作ってみてくださいね♪



○材料と道具

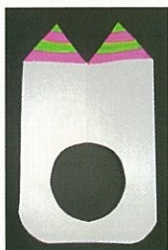
- ・牛乳パック・・・1本をひらいて、半分使う。
- ・割りばし・・・3本
- ・輪ゴム・・・5つ
- ・おはながみ・・・適量
- ・パチンコ用のボール・・・なるべく柔らかい物（梱包材など）
- ・油性ペン（または色画用紙など）※装飾用
- ・セロハンテープ ・両面テープ ・ホチキス ・はさみ

① 鬼の形に切る。

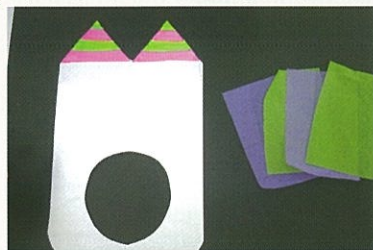
半分に折って、
切ってね！



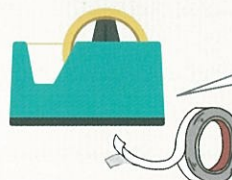
② 鬼のつのを油性ペンでぬる。



③ おはながみを両面テープではる。※鬼の髪の毛

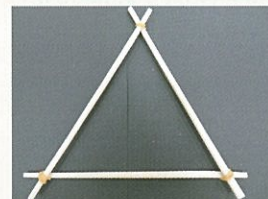
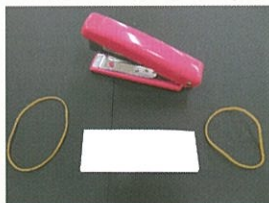


④ 鬼の顔を飾り付けする。（油性ペンまたは、色画用紙）



★紙を貼るときは・・・
セロハンテープ ○
両面テープ ○
のり ×

⑤ 牛乳パックを切り取った部分で、ボール受けを作る。 ⑥ 割りばし3本を三角形にして、輪ゴムでとめる。



⑦ 5と6を、鬼の顔の裏にセロハンテープでつける。



◎できあがり！！



★人に向けて、パチンコ
しないようにね！
鬼はそと 福はうち

和菓子作り体験

～みかん大福を作ろう！！～ 活動報告

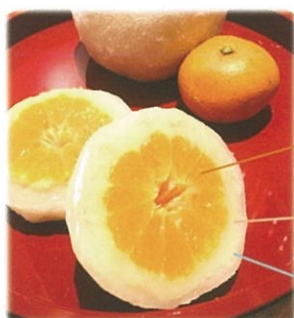


和菓子は日本が誇る食文化のひとつです。しかし、手作りおやつの定番はクッキーなどの洋菓子がほとんどをしめています。そこで、当館では子ども達が気軽に和菓子に触れられるように、去る11月11日、キッチンの科学プロジェクト（KKP）・みせす先生をお呼びし、和菓子作り体験～みかん大福を作ろう！！～を開催しました。

今回参加したのは小学校3年生から5年生の子ども達。体験後は、みんな和菓子作りの魅力にすっかりはまってしまいました！だれでも簡単に出来る、おいしい「みかん大福」。ぜひ、おうちでも作ってみて下さい。

みかん大福

みかん大福をつくらう！



- ① みかんのうす皮をとる
- ② おもちをつくる
- ③ 白あんで包む
- ④ おもちでつつむ

みかん

白あん

おもち
(求肥)

材料 (1人分)

みかん(SS) 1個
白あん 35g
重曹 大さじ1

<ぎゅうひ>
☆砂糖 大さじ1
☆白玉粉 15g
☆水 20cc

片栗粉 てきとう



つくりかた

- ① みかンをむいておく。
- ② 薄皮のまま重曹でさつとゆでる。
- ③ キッチンペーパーで水気をふきとり白あんでくるむ。
- ④ ボールに☆をいれてまぜる。中火でフライパンで練りながら求肥をつくる。
- ⑤ ④を片栗粉をしいたお皿の上のせて平たくのばす。
- ⑥ ③を⑤でくるんで出来上がり。



みかん 重曹
大さじ1
ひたひたの水

みかんの うす皮をとろう！

1. みかンをむく
2. おなべにお湯を入れてふつとうさせる
3. ふつとうしたら重曹を入れる
4. みかんを入れて1～3分様子を見て取り出す！



おもち（求肥）をつくらう！①

白玉粉 30g
さとう 大さじ2
水 30cc



よくまぜる！

おもち（求肥）をつくらう！②



白色から
透明になるよ！

中火でねる！！
3～5分くらい！



みかんを白あんでつつむ！



白あん

みかん

求肥で つつむ！



※子ども向け食育団体
「キッチンの科学プロジェクト（KKP）」
代表・講師 みせす

第27回

ぐんま
こどもの

夢大賞

入選
作品

「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で毎年行っています。18歳未満を対象とした絵画と、小学生以上18歳未満を対象とした童話の2部門を夏休みに合わせて募集を行い、今年も絵画6,627点、童話533点というたいへん多くの作品を皆様からいただきました。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞14点、銀賞21点、銅賞32点、奨励賞68点が、童話は最優秀賞1点、金賞4点、銀賞5点、銅賞6点、奨励賞10点が入賞しました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



★インタビュー内容★

- ①受賞を知ったときの気持ち ②制作時間 ③どうしてこの作品をかこうと思ったか
④次は何をかきたい? ⑤将来の夢 ⑥保護者のことば

絵画

最優秀賞



太田市(5歳)

しんどう ゆうのすけ
新藤 悠之介 さん

「おいしいパンやさん」



- ①びっくりしました。
②2日間くらいです。
③お兄ちゃんと一緒にパンやさんになりたいと思っています。
④新幹線(こまちとはやぶさが連結している)の絵です。

- ⑤パン屋さんです。
⑥最優秀賞に選んでいただきとてもうれしく思います。
のびのびと描けていて悠之介らしい絵だなと思いました。

最優秀賞



太田市立鳥之郷小学校(3年)

たけまさ ゆいか
竹政 結花 さん

「昆虫博士」



- ①うれしく思いました。そして、ちょっとおどろきました。
- ②3～4時間くらい
- ③昆虫が大好きで、虫の図かんをいつも見ているので研究したいと思い絵を描きました。
- ④きょうりゅうの絵を描きたい。
- ⑤虫はかせ。まだ、発見されていない虫を、自分で見つけてみたいです。
- ⑥最優秀賞に選ばれてとても光栄です。絵を描くことが好きなので、特技を活かして日々成長していった欲しいと思います。

最優秀賞



群馬県立中央中等教育学校(4年)

やまだ ゆうこ
山田 有羽子 さん

「前橋公園からのオーロラ」



- ①まさか、受賞できるとは思っていなかったのでも嬉しかったです。
- ②2週間程度です。
- ③家族でオーロラが見たいと話したことがあり、それを思い出して描きました。
- ④きれいな自然の風景を描いてみたいです。
- ⑤世界中の素晴らしい人達の助けになりたいです。
- ⑥限られた時間の中、新しいことにチャレンジし受賞できたことは、常日頃の努力があつてのことだと思います。心からおめでとうと、このような機会を下さった皆様に感謝申し上げます。

童話

最優秀賞



玉村町立玉村中学校(3年)

おかだ さき
岡田 紗季 さん

「幸せな光景」

- ① 昨年は銀賞だったので、今年は無理だと思っていました。信じられなかったです。
- ② 2週間です。
- ③ 福祉関係の仕事に興味を持っているので、認知症の事を書こうと思いました。
- ④ ファンタジーの童話を書いてみたいです。
- ⑤ 介護士になりたいです。
- ⑥ 本が大好きで今まで沢山読書をしてきました。今回、最優秀賞という素晴らしい賞を頂き親子共々とても喜んでます。これからも機会があれば色々な童話を沢山書いてほしいです。

「幸せな光景」

玉村町立玉村中学校 3年 岡田 沙季

「おじいちゃん、おばあちゃん。こんにちは」
元氣よく挨拶すると、私に気付いた二人は、笑顔を見せた。木でできた扉を押すとキィと軋むような音を立てた。二人は縁側に座り、おじいちゃんは新聞を読んでいた。おばあちゃんは、猫の林檎と遊んでいたようで林檎はおもちゃを銜えている。

「あら、凜今日は早いわね。さあ、入って。ほら林檎そんなところにいたら踏まれてしまうよ」

私はこの光景が好きだった。二人が笑っている。この光景が。

だから…この幸せな光景が壊れることなんて信じられなかった。信じたくなかった。当たり前だったはずの光景が少しずつ壊れていく。そんな音があるならば、確かに私はその音を聞いていたのだろう。



「お母さんも、もう歳だからね」
「そうだなあ。やっぱり入院させたほうがいいんじゃないか？」

そんな会話を聞いたのは、私が高校2年生になったころだ。二人の声色は不安げで会話を聞いていた私まで不安にさせられた。

「ねえ。何の話？」

「凜！聞いていたの？」

「うん。ねえ。何の話？おばあちゃんが入院なんて…」

「凜…よく聞いてね。お母さんは認知症という病気なの」「認知症って、いろんなことを忘れちゃうやつでしょ。入院なんか必要ないじゃん！」

認知症については、学校で習ったし、テレビでもたまに聞くから少しは知っている。

「凜、最近おばあちゃん家行ってないだろ」

お父さんが低い声で聞いた。

「え。うん。最近は部活とか勉強とか忙しくて…」「じゃあ、最後に行ったときおばあちゃんの様子はどうだった？」

おばあちゃんの様子？そんなのいつも通り、と答えようとしたけど口は開かなかった。最後に行ったときおばあちゃんは…

「おばあちゃん、おじいちゃん。こんにちは」
いつも通り挨拶すると、いつもは帰ってきたおばあちゃんの声が返ってこなかった。おばあちゃんは縁側に座っていた。そしてすぐ横には、林檎が座っていた。いつも通りの風景だ。だが、いつもと様子が少しおかしいような気がした。

「？」

「おばあちゃん、どうしたの？ボーっとしてるけど。考え事？」

おばあちゃんの肩を揺さぶるとおばあちゃんは、ハッと私のように私の目を見た。

「凜？なんでここに…」

「あれ、気づかなかった？私が来たの」

「あ、うん。ごめんね。私ももう歳だから、耳が遠くなったかな」

おばあちゃんは笑ってそういったけど、なんだか今にも泣きそうに見えた。

「何言ってるの。大丈夫だよ」

その言葉は後から考えると自分に向けて言っていたように思えた。

おじいちゃんは買い物に出かけていたようで、家にはいなかった。それからおばあちゃんとの話を咲かせ時間があつという間に過ぎた。

「それでねー私が十八の頃ね」

「おばあちゃん、その話さっき聞いたよ」

「えっ？そうだったかな」

おばあちゃんは、初めて話すと思っていたようで、随分と驚いた顔をしていた。

このことを少し不安に思ったけれど「そういうこともある」と自分に言い聞かせた。

もしかしてあの時にはもう認知症になっていた？最近おばあちゃんはボーっとすることが多くなかったか？物忘れがひどくなかったか？同じ話を何度もするようにならなかったか？

「お母さん。おばあちゃん本当に認知症なの？」

「この前病院で検査してもらったの。そしたら認知症だった」

お母さんは、少し寂しげに呟いた。

「なんで！なんで教えてくれなかったの？」

「凜。ちょっと落ち着きなさい」

お父さんの声は、落ち着いていてそれが余計にイラついた。「そうよ。それに知らせなかったのは、お母さんからそう頼まれたからなの」

「えっ？おばあちゃんから？」

私は、爆発しそうになっていた怒りが急に静まるのを感じた。

「なんでそんなこと…」

「それはお母さんに直接聞きなさい」

静かな病室にガラガラと、扉を開ける音が響いた。

「おばあちゃん？」

病室のカーテンを静かに引くとおばあちゃんの顔が見えた。だが小さく寝息を立て、寝ているようだった。その寝顔を見て私は、なぜかホッとした。

「おばあちゃん。本当に認知症なの？違うよね。おばあちゃんが」

「認知症だよ」

私の言葉を遮ったのは寝ていると思っていたはずのおばあちゃんだった。

「ねえ、凜。ほんととは…気付いてたのよね。私が認知症だった」

私は、おばあちゃんが起きていたということよりもその言葉に啞然としてしまった。

「えっ？」

気付いていた？私が？そんなことない。だってお母さんに聞いて初めて知ったのだから。頭の中でいろんなことを考えているとおばあちゃんが口を開いた。

「だって…もしかしたらって思うことはきっとあったんじゃない？」

「…っ」

そうだ確かにあれ？と思うようなことが多くあった。それなのに私は知らなかったふりをした。無意識だったのかも知れない。でも、私がいかに早くに伝えていけば入院、とまではいかなかったかもしれない。

「おばあちゃん。ごめん」

思わずそういった私におばあちゃんは、笑って「大丈夫。大丈夫」と言った。それを聞いて私は泣きそうになってしまった。本当は、おばあちゃんのほうがつらいはずなのに。おばあちゃんはこんなにも私を優しく暖かく包んでくれる。涙目になっていることが知られないように病室を出ようとした。だが病室を出る前に私の服の袖がグッと引っ張られた。

「凜」

おばあちゃんが優しい声で言った。その言葉で私はさらに泣きそうになった。

私は、無理矢理に笑顔を作って振り向き、

「また来るね」

そう言った。おばあちゃんは柔らかに微笑んでいた。

「無理しないでね」

そうやって目を閉じ、しばらくすると寝息を立て始めた。私は、その言葉を聞いて自分の感情が抑えきれなくなった。涙があふれた。嗚咽が抑えられずに口から洩れた。病院でなくわけにはいかないから唇を噛みしめ声を殺して泣いた。

おばあちゃんが認知症だということを知って2年がたった。おばあちゃんの容体は、あれから坂道を転げ落ちるように悪くなった。おばあちゃんは、私のことをおぼろげにしか覚えていないようで最近は名前を呼べなくなった。それでも呼ぼうとしているのがわかるから、私は自分から「凜だよ」と名前を言う。最初の頃はそれが少し苦しくもあったけど今では笑顔で話せるようになった。

私は毎日おばあちゃんに会いに病院に行っている。もしかしたら…もしかしたら明日病院に行ったら私の名前だけじゃなく、私自身を忘れていているかもしれない。そんな不安を抱えながら。

もう私が大好きな光景はなくなってしまったのかもしれない。

「おばあちゃん。こんにちは」

「こんにちは。…凜」

おばあちゃんは、やっぱりすぐには私の名前が出てこないようで言葉に詰まらせている。それでもおばあちゃんは笑顔だった。その笑顔が私には偽物のように思えて心から笑って話せなかった。

今日はおじいちゃんも、おばあちゃんに会いに病院に来ていたようで、二人の笑い声が耳に入ってきた。私は、少し扉を開けるのをためらいながらもゆっくりと開けた。二人の姿を見てあることに気が付いた。おばあちゃんとおじいちゃんがいて、二人が笑っている。その姿が縁側に座って話す二人の姿に重なった。

ああ。そうか。なくなってなんかなかった。あの幸せな光景は、なくならない。ここに確かにあるんだ。

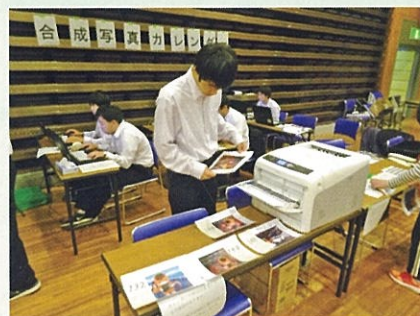
私は、笑う二人に向けて鼻声になりながら声を出した。

「二人で何話してるの？」

と、心からの笑顔で。

太工フェア in ぐんまこどもの国児童会館

今年も恒例の「太工フェア」を開催しました。太田工業高等学校の全面協力の元、児童会館に遊びに来た子ども達や保護者の方々に、生徒のみなさんが制作したおもちゃで遊んでもらったり、作品に直に触れてもらったりと、大充実のイベントです。生徒のみなさんにとっては、大事な課題研究の発表の場にもなっています。「UFOキャッチャー」「アームロボット」など、子ども達に大人気のアトラクションはもちろん、その場で撮影し作成してもらえる「合成写真カレンダー」は今年も大人気！その他ブースも終始たくさんの人で賑わいました。



ぐんまこどもの国児童会館では、県内の高校にご協力いただき、たくさんの生徒さんに活躍をしてもらっています。今年度も「樹徳高等学校 理科部」・「藤岡中央高等学校 理数科 F.C.LAB」・「ぐんま国際アカデミー高等部有志」のみなさんが中心となったイベントが行われました。みなさんご協力ありがとうございました。これからもよろしくお願いします！

各室紹介「だんらんひろば」

皆さん、「だんらんひろば」はご存じですか？2階プレイルーム前のスペース、ボードゲームやカードゲームなどのおもちゃがある場所です。幼児から大人の方まで遊べ、家族一緒に楽しめるスペースです。おもちゃは定期的に入れ替え、季節に合った遊具も取り入れるようにしています。



受付は必要なく、好きなおもちゃを取り出し、テーブルに持って行って遊べます。遊び終わったら元の場所にお片付け。家族やお友達、カップルで楽しむのはもちろん、1人でもじっくり楽しめます。

特に人気の遊具はオセロやウノゲーム、地図パズルです。

皆さん是非遊びに来て下さい！ゆったりと楽しいひとときをどうぞ・・・。



群馬県児童館連絡協議会より

～群馬県内児童館交流フェスティバルのご報告～

10月14日(日)、県内44の児童館・児童センターが前橋市児童文化センターに大集合しました。史上初となる前橋での開催でしたが、天候にも恵まれ沢山の利用者でにぎわいました。

今回のテーマ「みんなおいでよ！児童館はあそびの宝箱」のもと、子どもたちは様々な体験や人との交流を通して、あそびの宝物をたくさん持ち帰った様子でした。

来年は太田市のぐんまこどもの国・児童会館で開催予定です。みんなで遊びにきてくださいね！！



県立前橋高等学校によるジャグリング



ふじみじどうかんによるミサンガ作り

～JA共済連群馬さまより寄付金をいただきました～

—昨年度・昨年度に続き、今年度もJA共済連群馬さまより地域貢献活動の一環として、群馬県児童館連絡協議会の会員 66 館へ図書購入費用(各5万円)の寄付金をいただきました。

児童館は地域の中でも、遊びを通して子どもたちの健やかな成長と子育ての喜びを実感できる施設です。今後も引き続き、児童館の役割を果たしていきたいと思ひます。

児童館活動へのご理解と温かいご支援、本当にありがとうございました。

